

『相関社会科学』執筆要綱

『相関社会科学』編集委員会（2023年4月）

- 論文提出に際しては、執筆者（共著の場合は代表者）の自宅住所・電話番号・メールアドレス、所属先の正式名称、論文の字数を明記した書類および倫理チェックシート（様式指定）を添付してください。メールアドレスは、論文投稿・刊行以後も継続して連絡が取れるものを記載してください。
- 原稿は、必ずコンピュータを用いて作成してください。
- 論文の分量は、16000～24000字（厳守）（注・参考文献・図表等含む）とします。（なお、図表分の字数への換算に関しては、本誌は本文1ページが21字×38行の2段組になっていますので、それを基準に図表の大きさ等を勘案してお考えください。投稿時には概算でけっこうです。）
分量を超過した論文については、編集委員会より縮小のお願い等を行うことがあります。また、場合によっては掲載決定を取り消すことがありますので、あらかじめご了承ください。
- 使用言語は、原則として日本語とします。
- 投稿にあたっては、別途定める「文献挙示の『相関社会科学』方式」および本要綱に従って原稿（wordファイル）を作成し、連絡先等が記載された書類および倫理チェックシートとあわせ、期日までにメールにて本誌編集委員会（editorial-board_soukann@waka.c.u-tokyo.ac.jp）にご提出ください。
- レフェリー審査の際に匿名性を確保するため、投稿論文本体に、執筆者の氏名・所属などを記入しないようにしてください。また、執筆者ご自身の論文や著書に言及する場合には、「拙稿」などの表現は避け、他の文献と同様の形式で引用するようにしてください。
- 投稿を取り下げる場合には、メールにて編集委員会まで必ずご連絡ください。
- レフェリー審査の結果掲載を許された論文については、編集委員会およびレフェリーから、別途、加筆・修正・改稿などの指示を出す場合があります。その場合には、論文の修正箇所およびどのように対応したかのかについての概要をリプライレターとして文書化し、修正原稿と共に提出してください。
- 執筆・論文投稿に際しては、東京大学科学研究行動規範を遵守すること。
<http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/administration/codeofconduct/>

- 原稿の書式は以下の通りです。
 - 章・節タイトル
 - 章・節番号（すべて半角を基本、ただし、全論文で統一されていれば可）
 - 大項目：ローマ数字 I.
 - 小項目：ローマ数字+アラビア数字・・・I.1.
 - 章・節間
 - 章と章の間は必ず1行開ける（論文間で統一）
 - 節と節の間は著者の指示に従う（論文間で統一しない）
 - 註
 - 註と文献リストは別にする。註は論文の最後にまとめて示す（脚注形式はご遠慮ください）
 - 註のタイトル名を「註」とする
 - 体裁
 - 本文中=(1)という形で、括弧つきのアラビア数字を上付きに
 - 文末脚注=1.という形で、括弧なしアラビア数字、数字に加え半角ピリオド
 - 註内の文頭ラインを揃える
 - 文献
 - 文献リストについては、別紙「文献挙示の『関連社会科学』方式」を参照
 - 文献表のタイトル名を「文献」と統一
 - 各著作の冒頭は揃える。冒頭に「・」などは不要
 - 2行にわたる場合は、2行目を、全角4字分空ける
 - 同一著者の場合、「———」（ダッシュ4文字分）とするか、繰り返すかは、著者の指示に従う
 - 本文中の括弧
 - 本文中の括弧については、全角・半角が論文中で一貫していれば可
 - ただし、文献挙示に関するものは、すべて半角で統一（「文献挙示の『関連社会科学』方式」参照）
 - 図表：本文との間は1行アキ
 - その他、本文について
 - 句読点：「、」（てん）「。」（まる）全角
 - 数字
 - 1桁は全角、2桁以上は半角
 - 4桁以上の場合、区切りを設ける場合は、「,」（カンマ）半角 例 4,000
 - 欧文は全て欧文半角文字（ただし、和文との間が開きすぎないように）
 - カンマ、ピリオド、コロン、セミコロンの後は半角空き

以上